

各 位

会社名 スギホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 杉浦 広一
 (コード番号 7649 東証・名証一部)
 問合せ先 社長室長 丹羽 淳
 (TEL 0566-73-6300)

業績見通しの修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 4 月 11 日の決算発表時に公表した業績見通しを下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 中間期の連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 3 月 1 日 ～ 平成 20 年 8 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

		売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)		136,800	6,400	7,000	3,900
今 回 修 正 予 想 (B)		137,236	6,244	7,050	1,895
増 減 額 (B - A)		+436	-156	+50	-2,005
増 減 率 (%)		+0.3%	-2.4%	+0.7%	-51.4%
(ご参考)	前 期 実 績	119,192	6,133	6,730	3,646
	前 期 比 (%)	+15.1%	+1.8%	+4.7%	-48.0%

【修正理由 (中間期)】

当社グループは、平成 20 年 2 月 29 日付で株式を取得し完全子会社化した飯塚薬品の全店舗 88 店舗の看板を『ドラッグスギ』に変更し、平成 20 年 3 月 1 日より新たなスタートを切っておりますが、この飯塚薬品につきましては、早期収益化が大きな課題であります。

当社グループは、早期収益化に向けて、飯塚薬品ののれん残高を一括処理するとともに、飯塚薬品全社の固定資産と、当社が保有し飯塚薬品に賃貸している固定資産を減損処理することにより、12 億 11 百万円の特別損失を当中間決算に計上する予定であります。

また、平成 20 年 7 月 16 日に開示した業務上横領事件に伴い、5 億 87 百万円の特別損失を当中間決算に計上する予定であります。

以上の結果、平成 21 年 2 月期中間期の連結業績見通しは、連結売上高 1,372 億 36 百万円、連結営業利益 62 億 44 百万円、連結経常利益 70 億 50 百万円と、概ね予想通りとなる見通しであります。上記の通り、特別損失を計上することにより、連結中間純利益は 18 億 95 百万円となる見通しであります。

2. 通期の連結業績予想数値の修正（平成 20 年 3 月 1 日 ～ 平成 21 年 2 月 28 日）

（金額の単位：百万円）

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)		273,700	11,800	13,400	7,400
今回修正予想 (B)		273,700	11,300	13,000	4,600
増減額 (B-A)		±0	-500	-400	-2,800
増減率 (%)		±0%	-4.2%	-3.0%	-37.8%
（ご参考）	前期実績	248,134	10,879	12,067	6,856
	前期比 (%)	+10.3%	+3.9%	+7.7%	-32.9%

【修正理由（通期）】

平成 21 年 2 月期の業績見通しにつきましては、原材料価格の高騰や生活必需品の値上げ等の影響により、個人消費はさらに厳しい状況になる可能性があり、加えて、小売業界においては、出店競争や価格競争の激化等の厳しい状況が継続するものと思われまます。

このような厳しい状況の中、当社グループは『地域社会への貢献』をグループ理念に掲げ、積極的な店舗展開を実施し、通期で新規出店 70 店舗、退店 10 店舗を予定しております。

また、積極的な採用・教育投資や、関東エリア等への出店エリア拡大により、人件費等の販管費が増加することが想定されるものの、商品仕入や物流、備品資材の調達などの統合を推進し、グループとしてのシナジー効果を活かすことにより収益を改善してまいります。

通期業績見通しの前提として、新規出店 70 店舗に伴う設備投資 60 億円を予定しております。特別損失につきましては、10 店舗の退店費用に加え、前述の飯塚薬品に係る減損 12 億 11 百万円ならびに業務上横領事件に伴う被害 5 億 87 百万円等の要因を鑑み、通期で約 33 億円の特別損失を計上する見通しであります。

以上の結果、平成 21 年 2 月期通期の業績見通しを、連結売上高 2,737 億円、連結営業利益 113 億円、連結経常利益 130 億円、連結当期純利益 46 億円とし、達成を目指してまいります。

なお、当社グループは、平成 20 年 5 月 29 日開催の当社第 26 回定時株主総会の承認を経て、平成 20 年 9 月 1 日付で、当社の商号を『株式会社スギ薬局』から『スギホールディングス株式会社』に変更いたしました。また、平成 20 年 9 月 1 日付で当社の事業を会社分割（新設分割）により新設会社となる『株式会社スギ薬局』『スギメディカル株式会社』の 2 社に承継し、持株会社体制に移行いたしました。

今後の業績見通しにつきましては、当社グループ全体の連結業績見通しのみを開示してまいります。

以上